

PICK UP!



山をまもり、のこし、未来へ伝えるために、地域のみんで考えよう

# 山の会議 (仮)



昨年8月から始まった「山の会議(仮)」。太良・鹿島、離島・半島、嬉野・武雄、脊振山系など4つのブロックで、地域内外の多様な人々が語り合い、つながりが生まれ、つながりへつながる自発的な取り組みの種が撒かれ、各地で芽吹いています。

## 太良・鹿島ブロック

### 太良の山と共に成長する人づくりに挑戦中!



いけだ しんや  
池田 清哉さん

会議では、多くのアイデアや提案が出ました。それをきっかけに登山ガイドや登山道の整備、太良の旅館との登山ツーリズムなど、一つひとつ実現できる体制を地域と連携して創っています。太良の素晴らしい自然や良さをもっと広く伝えていきたいですし、山と共に地域が成長できる場づくりを行なっていこうと思います。



## 嬉野・武雄ブロック

### 耕作放棄地を復活させたい!

茶農家を営んでいて、茶畑の耕作放棄地をどうにかしたいと思っていました。会議を通じて出会った異業種の人たちとのつながりで復活させた山は、新たな嬉野の価値にできると感じました。今後、耕作放棄地から山を復活させる活動につなげていきたいと思っています。



みね たかゆき  
三根 孝之さん

### つながりを活かしたフェスをしたい!

これまで自分たちで企画したマルシェなどを行なってきましたが、会議を通じて地域をもっと良くしたいと思っている同世代のつながりができたことが良かったです。今後、このつながりを活かしたイベントができるとう感じています。



あかざわ ゆきこ  
赤澤 侑子さん

特集

# 自発の力で 地域を盛り上げる!



コロナ禍でも  
飲食店などを  
独自に支援!



コラボdeシェフ  
ACTION #02

旅館の料理長を務めるメンバーが、飲食店とコラボレーション。新レシピの考案やアドバイスなど、レベルアップにつなげながら、地産地消にも取り組みます

多未来チケット  
ACTION #01



飲食店を応援したいと、プロジェクトメンバーが短期間で企画・運営・販売まで行った独自の商品券

# “多 久 未 来”

「私たちの考えを理解してもらい、故郷を思う市民の気持ちが増え、純米大吟醸多久の完成をたくさんの人と喜ぶ」

「多久市の未来を良くすることが私たちの最大の目標です。他の地域に行かなくても多久だけでも楽しいし、色々」

市民が主体となり多久市で頑張る人を応援する地域支援団体『多久未来プロジェクト』。2018年にこのプロジェクトを立ち上げた会長の小川さんにお話を伺いました。  
「資金不足に悩みながらも多久を盛り上げようと取り組んでいる人たちの想いに突き動かされました。みんな、何かしたいという気持ちがあったので声をかけるとすぐに人が集まり、プロジェクトをスタートできました」と小川さん。  
「せっかくなら多久の美味しい米と水、そして多久の“人”を活かせないかと考えていると、日本酒を造り、その収益を基金とする活動をひらめきます。東鶴酒造の野中保斉のなかやすなり杜氏を始め、さまざまな業種のメンバー15人が集い、米作りから開始。多くの人に取り組みを知ってもらおうと銘柄の募集や米の収穫、ラベ

# プロジェクト

Taku Mirai Project

「多久市の未来を良くすることが私たちの最大の目標です。他の地域に行かなくても多久だけでも楽しいし、色々」  
「多久市の未来を良くすることが私たちの最大の目標です。他の地域に行かなくても多久だけでも楽しいし、色々」

地域の未来を良くしたいと立ち上がった多久市の地域支援団体『多久未来プロジェクト』。イベントの企画・運営や日本酒造りの収益で、支援活動を行っているみなさんの取り組みをご紹介します。



取材協力  
多久未来プロジェクト  
おがわ さぶろう  
会長/小川 三郎さん

問い合わせ  
多久未来プロジェクト「小川」  
070-4704-7457